

平成 23 年度 福利部 活動計画書(案)

平成 23 年 2 月 2 日作成

作成者；福利部

I. 新企画：勉強会情報交換会(案)

【背景】

22 年度の実施した【情報交換会】において、以下の反省点が出た。

(平成 22 年度第 4 回福利部会議より)

- ◆今後につなげる為の工夫が足りなかったのでは。
- ◆会のテーマが明確ではなく、参加者が得られるものが少なかったのでは。

残念ながら、このような反省は毎年挙げられるものであり、参加者の多くは情報を求めているのは確かなことではあるが、今までの交流会のスタイルであると、情報交換がその場限りで終わることが多いように思われる。

そこで、23 年度の福利部の企画として、勉強会の情報交換に焦点を絞り、参加者が互いに“勉強会”についての情報交換が出来るような企画を立案した。

愛知県には多数の勉強会が点在しており、勉強会への参加を検討しているが尻込みしている者、また勉強会を主催しているが参加者が集まらないで悩む者もいると考える。今回の福利部の企画で、勉強会参加者と勉強会主催者のギブ&テイクの関係を利用した企画を立て、愛知県下の勉強

会

活性化の一助となればと考えている。

【目的】

- ◆臨床現場で悩みを抱える新人、中堅作業療法士に対し、勉強会を紹介し、問題解決の一助としてもらう。
- ◆勉強会企画者に勉強会の紹介の機会を提供し、勉強会の活性化に役立ててもらう。
- ◆愛知県士会として、勉強会の実態を把握する

図のように福利部が勉強会の情報を発信する人と情報を得たい人の仲介役をするということです。



